

【別表 2】

担当講師一覧表

1 介護職員初任者研修

科目名・項目名	講師名	資格／職業
(1) 多様なサービスの理解	松田 恵美子	介護福祉士／訪問介護員
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	松田 恵美子	介護福祉士／訪問介護員
(1) 人権と尊厳を支える介護	石神 美保	介護福祉士／訪問介護員
(2) 自立に向けた介護	石神 美保	介護福祉士／訪問介護員
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(2) 介護職の職業倫理	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(4) 介護職の安全	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(1) 介護保険制度	松田 恵美子	介護福祉士／訪問介護員
(2) 医療との連携とリハビリテーション	松田 恵美子	介護福祉士／訪問介護員
(3) 障害福祉制度およびその他制度	松田 恵美子	介護福祉士／訪問介護員
(1) 介護におけるコミュニケーション	柳田 小百合	介護福祉士／訪問介護員
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	柳田 小百合	介護福祉士／訪問介護員
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	矢野 勝子	介護福祉士／訪問介護員
(2) 高齢者と健康	矢野 勝子	介護福祉士／訪問介護員
(1) 認知症を取り巻く状況	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(4) 家族への支援	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(1) 障害の基礎的理解	那須 由紀子	介護福祉士／訪問介護員
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	那須 由紀子	介護福祉士／訪問介護員
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	那須 由紀子	介護福祉士／訪問介護員
(1) 介護の基本的な考え方	中川 文	介護福祉士／訪問介護員
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	中川 文	介護福祉士／訪問介護員

(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	中川 文	介護福祉士／訪問介護員
(4) 生活と家事	石神 美保	介護福祉士／訪問介護員
(5) 快適な居住環境整備と介護	石神 美保	介護福祉士／訪問介護員
(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	石神 美保	介護福祉士／訪問介護員
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	増田 裕代	介護福祉士／訪問介護員
(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	那須 由紀子	介護福祉士／訪問介護員
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	那須 由紀子	介護福祉士／訪問介護員
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	川越 陽子	介護福祉士／訪問介護員
(13) 介護過程の基礎的理解	新福 善美	介護福祉士／介護支援専門員
(14) 総合生活支援技術演習	新福 善美	介護福祉士／介護支援専門員
(1) 振り返り	石神 美保	介護福祉士／訪問介護員
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	石神 美保	介護福祉士／訪問介護員
修了評価（筆記試験）	石神 美保	介護福祉士／訪問介護員

様式第 1 号の 2

研修カリキュラム対応確認表

2 生活援助従事者研修

科目名・項目名	研修時間数				講師名
	計	通学	通信	実習	
1 職務の理解（2 時間）					
（１）多様なサービスの理解					
（２）介護職の仕事内容や働く現場の理解					
2 介護における尊厳の保持・自立支援（6 時間） ※通信上限 3 時間					
（１）人権と尊厳を支える介護					
（２）自立に向けた介護					
3 介護の基本（4 時間） ※通信上限 2.5 時間					
（１）介護職の役割、専門性と多職種との連携					
（２）介護職の職業倫理					
（３）介護における安全の確保とリスクマネジメント					
（４）介護職の安全					
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（3 時間） ※通信上限 2 時間					
（１）介護保険制度					
（２）医療との連携とリハビリテーション					
（３）障害福祉制度およびその他制度					
5 介護におけるコミュニケーション技術（6 時間） ※通信上限 3 時間					
（１）介護におけるコミュニケーション					
（２）介護におけるチームのコミュニケーション					
6 老化と認知症の理解（9 時間） ※通信上限 5 時間					
（１）老化に伴うこころとからだの変化と日常					
（２）高齢者と健康					
（３）認知症を取り巻く状況					
（４）医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理					
（５）認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活					
（６）家族への支援					

7 障害の理解（3 時間） ※通信上限 1 時間					
（1）障害の基礎的理解					
（2）障害の医学的側面、生活障害、心理・行動 の特徴、かかわり支援等の基礎的知識					
（3）家族の心理、かかわり支援の理解					
8 こころとからだのしくみと生活支援技術（24 時間） ※通信上限 12.5 時間					
【基本知識の学習】					
（1）介護の基本的な考え方					
（2）介護に関するこころのしくみの基礎的理解					
（3）介護に関するからだのしくみの基礎的理解					
【生活支援技術の学習】					
（4）生活と家事					
（5）快適な居住環境整備と介護					
（6）移動・移乗に関連したこころとからだのし くみと自立に向けた介護					
（7）食事に関連したこころとからだのしくみと 自立に向けた介護					
（8）睡眠に関したこころとからだのしくみと自 立に向けた介護					
（9）死にゆく人に関したこころとからだのしく みと終末期介護					
【生活支援技術演習】					
（10）介護過程の基礎的理解					
9 振り返り（2 時間）					
（1）振り返り					
（2）就業への備えと研修修了後における継続的 な研修					
10 修了評価（0.5 時間程度）					
修了評価（筆記試験）					